

令和4年度生野区区政会議(第1回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

参考資料 4

開催日:令和4年6月14日(火)

場所:生野区役所6階 大会議室

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>DXの推進と住民のQOL向上について、障がい者の方は身体機能によってその人に寄り添ったそのパーツを作らなければならないと、なかなかデジタルに突っ込んでいけない。そういう方々にソフト側はできてハード側がついていない現状があります。</p> <p>生野区はものづくりのまちであり、収益としてはそれ単体で上げていくことは難しいことだとは思いますが、技術力のアピールに使うなど、双方がWin-Winになる形で公民連携の推進も併せてそういう方面で繋がっていくことができたと思います。</p>	<p>生野区役所では、これまでも、企業、大学、NPOなどの機関と連携して、企業等が有する経営ノウハウや資源・実行力といった強みと、行政の持つ信頼の得やすさや継続性など、お互いの強みを活かし合うことで、「地域の活性化」や「区民サービスの向上」を目的として、公民連携の取組みを推進しております。頂きましたご意見も参考に、今後も取組みを進めてまいります。</p>
<p>生野区の将来ビジョンの振り返りと今後の方向性の関連指標で、平成30年から令和3年度までのパーセンテージが年々減少している原因について、原因の解析をして、原因に対する対策を立てて、どういった具体的な対策をしているのかお聞きしたいです。</p>	<p>この数値は区民アンケートを元にしており、区民アンケートの内容と結果については詳細を分析したものを報告書としてホームページで公開し、減少傾向にあることは区役所としても課題として認識しています。また、毎年運営方針にて振り返りをして、翌年度につなげていくという取組をしておりますので、指標の設定も含め今回の結果を重く受け止め取組んでまいります。</p>
<p>区政会議の委員は大阪市の条例で決められたポジションなため、一般の陳情の住民の方とは違い、いろんな関心を示して、区役所と一緒に意見を伝えていくことが非常に重要だと思っています。</p> <p>区役所の皆さんも部会や全体会で出た意見にたいして、これからも重点的にとらえていただき、次回の部会等で検討した結果等を話していただければ納得ができるので、検討いただきたいです。</p>	<p>区政会議は、区政の運営及び区において実施される事務事業について委員のみなさまにご意見を求め、区政を評価していただく重要な場であることから、いただいたご意見等に対して、適切なフィードバックを行い、よりよい区政につなげていくよう、より一層努めてまいります。</p>
<p>地域の防犯カメラは普段どのように活用されているのですか。</p>	<p>区役所が設置している防犯カメラは、警察署で捜査に使用されているほか、犯罪の未然防止、犯罪抑止のためにもなっております。</p>
<p>外国人住民の数が増えてるからそういう人との交流として、盆踊りとか地域の祭りとか、生野まつりなどのイベントに何とか地域に住んでる外国の人と一緒に参加してもらえ方法っていうのを探してほしいと思います。</p>	<p>これまで当事者である外国人住民、区内支援者・団体などと意見交換する「多文化カフェ」の開催や、やさしい日本語協力店との連携、広報紙記事での取材など、情報発信も含め、様々な取組みを工夫して行っておりますが、今後も、より工夫し取組みを進めてまいります。</p>

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>見守り隊の体制を整え、手の足りないところは行政にサポートをしてもらえるといいと思います。また、中心になるのはまち協であるかもしれないが、各地域任せにせず、学校再編で新しい通学路になった学校にはもう一度聞き取りをし、その中で改善できることとできないことを確認し、いつになれば改善できるのかをちゃんとして欲しいです。</p> <p>また、見守りの体制をどのようにしていくのか良い意見がたくさん出たので、それを形にできるよう委員会みたいなものが出来たらよいと思います。</p>	<p>学校再編に伴う通学路の安全対策につきましては、地域や保護者の方からなる学校適正配置検討会議において意見を頂戴し、開校までにできる限りの対策を行ってまいりました。</p> <p>各地域の見守り隊につきましても、検討会議の議論の中で引き続き活動していただくようお願いし、ご協力いただいているところです。見守り活動の体制につきましては、今後、地域の各組織(PTAなど)の見守り活動の実態やまちづくり協議会との関りを把握し、検討してまいります。</p> <p>なお、通学路の安全対策につきましては、一部、開校に間に合わなかった未対策の部分がありますが、現在、対応に向けて調整を進めているところです。</p> <p>また、学校再編のあった学校については、4月以降、実際に通学して実際に判明した事項もあると思われるため、「大阪市通学路安全プログラム」について今年度に優先的に実施することを検討しております。</p> <p>疎開道路の駒止めブロック(縁石)につきましては、道路管理者である建設局に意見を伝えてまいります。</p>
<p>学校再編される際に通学路をちゃんと作ると区役所から聞いていたが、実際再編されたら道は出来ておらず、細い道が通学路になっていたり、広い道にガードレールがない等、危険な道ばかりになっています。</p> <p>また、疎開道路の縁石が危ないので、ガードレールかポールに変えてもらった方が子どもも通りやすく一般の人も事故に遭わないと思います。</p>	
<p>オンラインで区政会議に参加する際、区役所側は全体を映してもらえるとどの人が話をされているかわかるのでオンライン参加されている方にはわかりやすいと思います。</p>	<p>オンラインでご参加いただく委員のみなさまにつきましても、当会議へ有意義に参画いただけるよう、適宜工夫・改善をしてまいります。</p>
<p>巽東地区は、ある意味高齢化がすすまじいが、元気だけでも病院に行かないという人もたくさんいます。しかし、こけてけがしたときに介護認定をすぐに受けられるような状況、もしくは元気なうちでもそういうふうなところに連れていけるような形でフォローできるような状況を何とか構築できないかなと思います。</p>	<p>高齢者が元気でいきいきと暮らしておられることは、望ましい姿と捉えられます。</p> <p>一方で介護保険制度を利用して施設利用するためには、申請受付後訪問調査や内容の審査を行い市町村の認定を受けるため、手続きには一定の日数はかかることから、その点につきましてはご理解をお願いいたします。</p>
<p>オンデマンドバスはほとんどバス停が停車位置になっているので、もしバス停に人がいる時は、どこまで行くのか声をかけて簡単に乗れるような方式ができればいいのではないかと思います。</p>	<p>いただいたご提案を大阪メトロにお伝えいたします。</p>
<p>くらしの安全・安心部会で、地震対策とか地図とかの、外国人の方の多言語化を検討していただきたいとありました。いつ地震があるか分からないので、できるだけ早く作成していただくようお願いします。</p> <p>また、今までと違ったコロナ禍に対応・考慮した防災訓練の実施も考えていただきたいです。</p>	<p>令和3年4月に作成し、全戸配布しました「生野区ぼうさいマップ」の裏面に、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、フィリピン語で、災害情報の入手方法や災害への備えなどの案内を掲載しております。</p> <p>地域の防災訓練において実施される避難所開設訓練では、コロナ禍に対応した訓練内容となるよう地域と調整を図り実施してまいります。</p>

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>地域活動や地域の様々な社会活動の担い手をどのように育てていくのかという視点は、より思い切ってしっかりと位置づけていく、あるいは、共に考えていく必要があるのではと思います。</p> <p>例えば、小・中・高世代の若者が地域で様々なプロジェクト活動をしていくことを推進・サポートするような仕組みを考えたり、区政会議の若者版のようなものを作り、若者から見える区政の今後の方向性を提案してもらうような仕組みも今後検討してはどうかと思います。</p>	<p>生野区まちづくりセンターと連携し、幅広い世代の住民の地域活動への参加・参画を促すため、まちづくり協議会の事業の効果的な実施を支援してまいります。</p>
<p>疎開道路のスーパー玉出のところで見守り隊をしているが、生野中学校の方の道路が朝の1時間ほど通行止めされているため、大きな車が来て危ない。できれば8時から30分程度でいいのでこの道路も通行止めしてもらえよう検討していただきたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編に伴う通学路の安全対策につきましては、地域や保護者の方からなる学校適正配置検討会議において意見を頂戴し、開校までにできる限りの対策を行ってまいりました。 ・当該道路につきましても時間帯通行規制の導入に向け調整を行いました。調整が困難な状況であったことから、暫定的にグリーンライン塗装並びに生野未来学園の北門から登校できるように対応いただいたものです。
<p>主人が舍利寺小学校の体育館で卓球をしているが、今後、廃校の利用でこのまま続けることが可能なのでしょうか。</p>	<p>基本的に閉校後の跡地でも実施できるよう調整をしており、舍利寺小学校についても、現在実施している活動については、跡地に新しい運営事業者が入っても実施できるように調整をすすめてまいります。</p>
<p>生野の面白いところや面白いことをやっている人たちをオンデマンドバスで巡る周遊バスのようにしてみてもどうでしょうか。</p>	<p>大阪メトロ等と連携し、いただいたご提案も参考にさせていただきますながら検討、実施してまいります。</p>
<p>町会費を税金と同じように何に使われているのか見える化し、メリットがあり、地域を支えていることが具体的に分かれば加入も考えてもらえるのではないのでしょうか。</p>	<p>各地域のまちづくり協議会においては予算・決算を公開しており、地域に公開していることの周知に努めてまいります。</p> <p>また、町会は住民の自主組織でありますので、収支等の公開は義務ではありませんが、ご意見について機会を見つけてお伝えしてまいります。</p>

令和4年度生野区区政会議(第2回全体会)
 いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和4年12月2日(火)

場所:生野区役所6階 大会議室

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>地域の花火大会を開催した際、告知をしていなかったにもかかわらず、かなりの人数が来られた。町会に入っていない方も多くいたようで、人と人とのつながりが一番大事で、こういうところから地域へのつながり・関りが増えればと思う。また、ロコミは大事なので、みんなでしっかり発信していくことが必要だと思った。</p>	<p>それぞれの特性に応じて地域行事等の周知活動・広報を各地域に行っていたいただいておりますが、区役所としても人と人とのつながり、地域へのつながりを促す意味でより積極的な広報に努めていただけるよう機会を見つけて伝えてまいります。</p>
<p>生野区に60カ国の外国人の方がいるということで、地域で困りごとを聞いたり対話をしていく場づくりが必要だと思う。</p>	<p>外国人住民も含めたすべての住民がそれぞれの地域特性に応じたコミュニティに参画・交流されることで、互いに理解し、尊重しあえる関係が醸成されていくものと考えられることから、そのような場づくりを支援してまいります。</p>
<p>外国人の方もやはり交流したい人たちはたくさんいるので、話をしていけば心を開いてくれるので、どれだけ民間でできるのか、が多文化共生の糸口だと思う。</p>	
<p>色々な状況の中で、学校の先生たちはしんどい状態にあるのではないかという気がしている。そういう学校の先生たちのしんどさを聞ける場があれば、生野区に赴任したい、生野区のこどもたちと一緒に成長したいと思うような先生方になっていただく、そんなことを何か実現していただけたらいいなと思う。</p>	<p>—</p>
<p>生野支援学校で、送迎などで大型バスを12台ほど使用されていて、そのバスが大阪わかば高校の東側の川がある道を通っている。その道が真っすぐ走れる道ではなく、交通量も多いため、将来的に事故が起こる可能性があるのではと思う。できれば道幅を拡張するなど、何か対策はとれないか。</p>	<p>ご意見については、道路を所管している建設局と共有させていただきます。</p>
<p>地域のイベントを行う際に集客が多くてもボランティアの数が少なくなっており、何かあった際の対応もあるので、若い人の担い手が出てきてくれるのかが心配である。</p>	<p>—</p>

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>区内で活動を頑張っている団体がたくさんあるので、区役所からも活動内容の発信をしてもらえると頑張っている方の励みにもなり、困っている方に役にも立つと思うので検討いただきたい。</p>	<p>「広報いくの」では、特集記事を毎月掲載しております。そこでは、特集テーマに応じた活動をされている団体の紹介を都度させていただいており、昨年は、民生委員児童委員や青少年指導員、青少年福祉委員の皆さんの活動を紹介させていただきました。</p> <p>また、こども食堂などの活動については、区社会福祉協議会で活動を把握し、マップを作成するなどしており、子育て支援室で配架するなど、必要な方に情報が届くようにしております。</p> <p>さらに、生野区持続可能なまちづくり活動支援事業に認定された団体等は、広報紙などでの活動内容の紹介やチラシ等の配架に協力することができます。</p> <p>「広報いくの」をはじめとする様々なツールを活用し、区民の皆様役に役立つ情報や取組の情報発信を引き続き行ってまいります。</p>
<p>オンデマンドバスに乗る方が増えてきて、交通の不便さが解消されてきているが、今後、大阪メトログループが管理されているところに、生野区役所がどこまで関わっていけるのか意見を聞きたい。</p>	<p>オンデマンドバスの導入が、区内の交通不便地域の解消などにつながると期待しており、区役所としても認知度向上に向けた広報や地域等との連携などに取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>学校の統廃合があり、こどもの通学路の安全がまだまだ確保されておらず、ボランティアの見守り隊は交通規制ができない。いつ頃整備されるのか提示をして欲しい。</p>	<p>学校再編に伴う通学路の安全対策につきましては、地域や保護者の方からなる学校適正配置検討会議において意見を頂戴し、開校までにできる限りの対策を行ってまいりました。</p> <p>また、開校後に意見をいただいた箇所につきましても、できる限り対応を行っているところです。</p>
<p>クロッシングフェスはビジョンにもある公民地域連携を実現しているかたちになっているので、今後も継続して欲しいと思う。継続していくに当たり、ボランティアの方々が成り立っているのが、規模が大きくなるとボランティアの方の負担も増えるので、何か仕組みを作っていければいいかなと思う。</p> <p>それに合わせて、情報の発信は既存のSNSをうまく活用していけると良いのではないかなと思う。</p>	<p>ご意見をいただいたクロッシングフェスは学校跡地活用事業者が主催・運営する事業となりますが、区役所としてもイベントに協力する立場から、より良いイベントになるよう情報発信も含めて支援してまいります。</p>
<p>まちづくりの基本理念と将来像の土台、基礎となる安全・安心分野で、やはり防災や防犯の再確認が必要かなと思うので、コロナが収束したら、地域ごとでもいいので防災訓練の実施が必要かなと考えます。</p>	<p>今年度についてもコロナの状況をみながら複数地域で防災訓練を実施されているところですが、来る令和5年11月12日に生野区内全域での一斉防災訓練を予定しています。</p>
<p>法令での自転車の厳罰化が報道されている機会を利用して、出張講座を復活してもらいたい。もし、警察だけでは難しいのであれば、区役所と連携して、何らかの形でこどもだけでなく、PTAや保護者等にも周知徹底ができるような講座をやっていただければと思う。</p>	<p>学校園等での交通安全に係る出前講座につきましては、ご相談を頂戴しましたら生野警察署や防犯協会と調整のうえ、実施させていただくことも可能と考えております。</p>

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>先の台風接近の際に小学校は避難所とならずに区役所に避難してくださいとの貼り紙がされていた。災害弱者・高齢者などは災害の自主避難の際、地域の避難所から区役所への移動手段として、オンデマンドバスを利用してみてはどうかと思う。</p>	<p>交通不便な環境などにおいてオンデマンドバスは非常に有用なものと考えられます。災害の自主避難時以外にも様々な場面でオンデマンドバスを移動手段のひとつとしてご利用いただきたい。</p>
<p>まちづくりは家づくりの例から、基礎部分をどう強化するのか、2階、3階部分をどう充実させていくのかというあたりについて、今後の戦略、あるいは重点策を別の機会があればお聞きしたい。</p>	<p>まちづくりの具体的な取組については、毎年度区の運営方針を定めて、区政会議の場でも委員の皆様にお示しし、ご意見をいただくようにしております。</p>
<p>ビジョンにたどり着くためのロードマップを専門家や民間事業者に任せるのではなく、住民自治の観点から、市民参加のプロセスを設計していくことが重要ではないかと思う。そのあたりの参加のデザインを考えていただけたらと思う。そういうプロセスの参加の中を通じて、市民性のようなものは涵養されていくと思う。</p>	<p>公民地域連携の考え方のもと、若年層も含めた多世代の住民の方々と協働し、ご意見をお聞きしながら、区のめざすまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>区政参加や区政における対話の場に子どもや若者の参加を推し進めることで、まちの継承が今からでも進めて行くことができるのではないかと思う。</p>	
<p>地域的に50年以上経っている家がたくさんあり老朽化が進んでいるので、空き家をリノベーションする前に、一度家自体の調査をしてもらえると良いと思う。</p>	<p>本市には、空家利活用改修補助制度があり、耐震性を条件として改修補助が受けられます。また、耐震診断や耐震設計、耐震改修工事の補助だけでなく、国が定めた基準に沿って既存住宅状況調査技術者が実施する建物の基礎、外壁などの調査も補助対象となるので、同制度を活用いただくよう周知してまいります。</p>
<p>生野区がものづくりのまちだと知らない人も多いので、すごさを知ってもらうため、百貨店の物産展で技術の披露の場を作ったり、いろいろな催事で発信していくと、生野区の魅力に気付いてもらえるのではないかと思う。</p>	<p>ポテンシャルの高い技術力を持つ区内のものづくり企業の認知向上のため、生野まつりでのものづくり企業ブース出展などに引き続き取り組むとともに、時勢に即した新しいアイデアを持つ国内外のベンチャー企業をつなげるなどに取り組み、町工場のグローバル化や新製品の開発・受注による地域経済の活性化を図ります。</p>
<p>災害の際にどのような対応をすればよいのか広報紙にのせてもらえればどうかと思う。</p>	<p>令和4年度は6月号(やさしい日本語で伝える防災)と8月号(台風に備える)の2回、特集記事を掲載しております。大雨台風のシーズンなど毎年1回以上防災の特集記事を掲載できるよう計画しております。</p>
<p>コリアタウンでの交通事故があった後、車や自転車が通れない時間帯が多くとられたりするようになったが、違反している人への注意は商店街の役員であっても難しいため、毎日とは言わないが、できれば警察で巡回し、注意をしていただきたい。</p>	<p>ご意見については生野警察署と共有させていただきます。</p>

令和4年度生野区区政会議(第3回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日：令和5年3月16日(木)

場所：生野区役所6階 大会議室

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>色んな魅力がある、という話ではシェアサイクルなどで日帰りではなく、観光スポットを色んなコースでめぐってもらい、生野の魅力をアピールし、その中から住んでくれる人ができたら良いと思う。また、いわゆる社会的弱者の場があり、やさしいまちだと知ってもらえたら、今情報が届いていない「弱者」の方にも伝わっていくのではないかと。</p>	<p>生野区の様々な魅力を区の内外に知ってもらうために、まちの回遊性を高めることはとても効果的と考えています。そのためにも、様々なツールを用いて情報発信し、「伝わる広報」に努めてまいります。</p>
<p>防犯カメラの設置数を増やしてほしい。 シェアサイクルで自転車の交通が増えることが予想されるので、自転車事故が増えないように、安全安心の取組もお願いしたい。 防犯の取組として、高齢者への特殊詐欺非該当の防止に力を入れてもらいたい。</p>	<p>防犯カメラの設置につきましては、平成30年度までに防犯カメラ設置助成事業により125台を設置しており、加えて令和元年度から、おおむね5年間で区内に100台設置することとし、令和元年度に22台、令和2年度に30台、令和3年度に31台、令和4年度に19台の計102台の設置を完了しております。</p> <p>また、シェアサイクルによる自転車交通量の増につきましては、交通安全の出前講座の実施や、交通ルールや運転マナーの啓発動画などを区役所ホームページに掲載するほか、区役所1階での動画放映、大阪シティバスでの車内放送、オンデマンドバスでのデジタルサイネージ活用など、安全対策の啓発を行っています。</p> <p>多発している特殊詐欺被害の防止対策については、市民局事業である「大阪市特殊詐欺対策機器貸与事業」として、65歳以上の方がお住いの世帯に対して「自動通話録音機」を区役所窓口等で無料で貸与をしているほか、区役所で「振り込め詐欺防止手形電話機用POP」(電話に取り付ける啓発物品)を啓発物品として作成し、地域包括支援センターやケアマネージャー等に配布し啓発を行っていくなど、特殊詐欺被害等の防止に努めています。</p>
<p>空家対策について、近所の空家の跡が建売になるとすぐに入居されているので、進んでいる実感があるが、まだまだ空き家が多いので、引き続き取り組みを進めてもらいたい。空き家に若い世代の入居者が多いので、生野に住んで、他の区よりも子供を育てるメリットが明確にあればいいと思う。小中学生へのフォローが少し足りていないのかな、と感じるところがあり、周囲では私学へ行く小学生が増えている。学力を伸ばしたいということで私学進学されるのか、もしかすると生野の中学校に魅力を感じないのかな、と思っている。また、働き手が外に流出しないようなメリットも必要だと思う。</p>	<p>生野区では教育環境を充実するために、区における産官学と地域の連携を図り、学校ごとに異なる課題や特色に対応した多様性に富んだ質の良い教育支援ができる仕組みを構築し運用しています。</p> <p>未来を生き抜く力の育成の視点に立ち、これまでも取り組んでいた性・生教育やキャリア教育の講師派遣の充実を図るとともに、コロナ禍でも深い学びを目的としたプログラム提供の取り組みを行っているところです。</p>
<p>5月19日のいくのの日観劇イベントが再開されることになった。コロナで行事が中止になり、地域のつながりが希薄になった感じがあったが、催しが再開されてうれしい。</p>	<p>ここ数年コロナ禍で地域行事を含めてイベント開催が自粛されてきましたが、昨今は回復基調にある中、感染対策を講じたうえで、様々なイベントが開催されることは、あらためて地域コミュニティの醸成に寄与するものと考えています。</p>

ご提言(要約)	区のお考え方、対応(要約)
町会長をやっているのに、区役所からの情報を閲覧したり、掲示したりしているが、自分に関係ない、という意識が住民に強いのか、情報が伝わっていないように思うことが多い。行政からの情報に関心が薄いのでは、という気がする。	行政からの情報発信についても、区民の方に興味・関心を持っていただくようなコンテンツの充実や、必要な情報を、必要なときに、必要な方にお届けできるように工夫を重ねてまいります。
事務局からの説明で、シティプロモーションの項目があったが、自分たちの内部への情報伝達、インナープロモーションの取組もあっていいのかなと思いました。	
施策のブラッシュアップには、当事者の声をどれだけ拾えるかということが重要になる。広報に力が入っているところはよく見えるが、広聴機能の評価の観点も必要ではないか。広聴機能をどう強めていくかが重要だと思う。	よりよい区政を推進していくためには、施策の効果を検証し、ニーズを把握し、次の取組につなげていくというPDCAサイクルを意識する必要があります。区民の皆さまからのご意見などの広聴機能は其中でも重要なフェーズと認識しており、広報、広聴とも施策推進の両輪としてしっかりと取り組んでまいります。
上記はパブコメの件数が少ないことも関連があるかと思うが、非常に残念な結果である。確かに関心が薄いのだろうと思う。ビジョンなど行政の計画書は時間に余裕がないと、見たり意見を述べたりすることが難しいので、パブコメは行政側が積極的に集めに行かないと自発的には出てこなくなっている。今後、住民の意見を聞き取るための強化をしていただきたいと思う。	パブリックコメントの実施にあたっては、区政会議の委員の皆さまへの説明はもちろん、報道機関への提供をはじめ、区のホームページやSNSでの周知、区役所庁舎や関係機関窓口での配架をしております。引き続き多様な意見・ニーズを把握し、施策のPDCAサイクルに努めてまいります。
将来ビジョンや運営方針において、区役所の仕事のありかた、住民とどう協働していくのかについて、もっと見えてもいいのではないかと。外からは見えにくい。	区役所機能のあり方や住民の皆さまとの協働につきましては、当区の将来ビジョンや運営方針の後半にて一部言及しておりますが、詳しくは本市の市政改革プランに基づき進めているところです。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。
地域の防災訓練で、外国人の参加者を見たことがない。いざ発災した時に避難所に来て避難者も受け入れ側もパニックになるだろうので、避難所の案内板や備蓄倉庫にあるものを多言語化してほしい。	外国人への防災啓発について、広報いくの(令和4年6月号)でやさしい日本語並びに多言語での防災啓発を掲載するなど取組を進めております。外国人被災者への対応について、(公財)大阪国際交流センターと連携し、多言語指差しボード等を避難所で活用するほか、区で所有するIpadを活用した翻訳支援を行うこと等を想定しております。
古い家が多いが、建て替えるとすぐに人が入るので役所からも空家の建て替えなどに後押しがあればよい。自転車マナーについては、啓発だけではなかなか守られるようにならないので、商店街の出入口付近の空家に駐輪場をつくり、商店街に入れなくするなどしてはどうかと思う。	(防災防犯) 自転車マナーにつきましては、区役所ホームページで交通安全について掲載するとともに、商店街にご協力いただき、横断幕の掲出や放送による呼びかけなど安全対策の啓発を行っております。今後も、地域や生野警察署を連携し啓発に取り組んでまいります。
空家対策について、他都市で空家をリノベーションし、新婚世帯に貸すという事業を役所がやっているという事例を見た。そうした施策で空き家対策と若い世代の取り込みを図っている。生野区は外国人が多いので、新婚世帯への賃貸だけでなく、外国の食を体験できる飲食店を誘致してもいいと思う。そうすると観光スポットと飲食店の双方向から活性化が図られて、シェアサイクルの取組も活かされるのでは。	公民相互の連携を図り、区内の空き家の発生抑制や適切な管理、市場への流通及び各種利活用を促進することにより、空き家所有者の具体的なニーズに対応するとともに、空き家・空きスペースを有効利用したにぎわいの場づくりに取り組んでまいります。また、住民の移動利便性向上や万博など観光で来られる来訪者の回遊性向上などに資するよう、シェアサイクルの利用促進に取り組んでいるところであり、空き家対策と同様に地域の活性化とまちの魅力向上を図ってまいります。
要援護者名簿への掲載同意を得るために、地域を一緒に回ったが、とても手間暇がかかった。この資料を閲覧するには、敷居の高い手続きが必要になっていると認識しているが、活用の実態を知りたい。	(清水)名簿の閲覧・貸出は今年度13地域で実績があります。 (筋原)名簿の活用ということですが、発災時に援護に行く目的で作成されていますが、その時だけでなく、日ごろから顔の見える関係を作ることが大切だと感じています。モデル地域を設定して取組を開始していますので、今後全地域に取組を広げていくことになると思います。

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
アンケートの速報を見ていると、色々な課題に関して、結構ネガティブな印象を持っている回答が多いのかなと思う一方で、いくのの町に愛着がある人がとても多い。治安が悪いなどのイメージが先行しがちが、本当はそうではないと思う。この数年でいくののまちの魅力は勢いついていると思うが、この魅力を外へ発信してほしい。	ご意見のとおり、この度の区民アンケートによれば、区のマちに愛着をもたれている区民の方が相当数を占めていることから、生野区のマちに暮らしている方の満足度は決して悪くないものと認識しています。そういった愛着のあるまちを今後も外部へ発信し、広めていくことで、生野区のマちの魅力が内外に浸透していくように鋭意取り組んでまいります。
防災について、避難所開設訓練に参加し、まあまあ大変な作業だなと思った。しかしながら、避難所の開設や運営を役所がやってくれると思っている住民が多いのではないかと。地域で立ち上げて、地域で運営するということが必要があると思う。防災の取組として、各地域で避難所開設訓練をした方が良く思う。また、大阪市(危機管理室)の立ち上げ訓練サポートがなくなったと聞いたので、それなら区で独自に訓練のサポートに取り組んでもらえたら良いと思う。	災害時、行政による対応には限界があるため、地域の住民同士で助け合い行動する「共助」が被害を最小限にするために重要となります。そのため、避難所の開設や安否確認の方法、災害時の避難方法、防災無線など災害時に使用する各種機材の取り扱い方法の習得など様々な訓練を日ごろから実施することによって、地域の防災力を高めていくことが必要です。区役所では、地域の防災訓練において、例えば町会単位の実施など開催方法や内容について様々な支援を行っておりますので、防災担当までご相談くださいますようお願いいたします。
つい先日、空き家が倒壊する事案があったが、区役所には権限がないので何もできないと聞いた。法律がないことには対応は難しいのかなと思った。	(松村)長屋の一部倒壊する件があり、計画調整局が所管だが、人が立ち入らないようフェンスを設置した。基本的には私物なので、行政がすぐに手を出せないが、行政代執行を含めて対応を検討している。特定空家に関しては規定があり、持ち主を調べて区が勧告、計画調整局が命令を発したのちに代執行という流れになっている。
銭湯や多文化に対する直接的な予算があってもいいのと思う。どの分野の予算も減らされているのに、十分な取り組みができるのだろうか。	銭湯や多文化といったまちの特色を生野区の大魅力・地域資源として、引き続きまちづくりを進めてまいります。
巽公園の近くに住んでいる。公園付近の路上駐車のをもっと強められないのか。子どもが危ないので、警察にも話をしたがなかなか動いてもらえない。誰か犠牲が出ないと動いてもらえないのだろうか。犠牲が出る前に行政からの働きかけなどできないかなと思っている。	いただきましたご意見につきまして、交通管理者である生野警察署へお伝えさせていただきます。
生野区は、昼間にたくさん人がいる。コリアタウン、高校、学校にたくさん人が来るので、昼間の人口がすごく多くなる。毎日外国人と思われる人とすれ違うが、この人たちとあいさつできる関係作りができたらいいなと思う。小中学校と連携した教育のことをよく聞かすが、高校との連携はできないのか。多様な時間、多様な食、もっと夜も活性化していけば、ここで働く、店を出す、住むということにつながるだろうか。つながれば良いと思う。	生野区には、全国的な観光資源であるコリアタウンがあり、年間200万もの来場者があります。そのような地域資源を活かしながら、多様性をひとつのキーワードとして、まちに人が訪れ、暮らし、働くことで、より一層まちの活性化につながることを期待されます。学校との連携については、「生野区の子どもの学び」を継続的に支援するため、「IKUNO未来教育ネットワーク」を構築しています。IKUNO未来教育ネットワークには、区内の府立や私立の高等学校もご登録いただいております。機会に応じた連携を図っています。
地域から大学へ進学している人も多いため、生野区だけでなく他区の人でも、生野区に外国の人を助ける活躍の場ができれば、その人たちが来てくれて、住んでもらえるきっかけになるのでは。	当区のめざすまちの姿である「居場所と持ち場のあるまち」は、まさにそのような誰もが活躍の場があるまちであり、そうなることで生野区のマちに訪れ、住んで、住み続けたいまちとなるように引き続き施策を進めてまいります。
生野区で大きな事故が続いた。歩道が狭く、車が歩道に突っ込んでいる。時間帯がちょうど下校時刻とかぶっていたので、このような事故が起きた時に地域や先生が自主的に下校の安全確保に動けるまちになったらいいのと思った。	登下校時の見守り活動については、学校・地域・行政・警察等が連携し通学路の安全確保に努めています。今後につきましても、引き続き連携を取りながら安全確保に努めてまいります。
放置自転車を運ぶトラックをよく見るが、何度撤去されても同じ場所で自転車が放置されている。手数料2,500円で引き取れるそうなので、手数料が安すぎるのではないかと。いっそ即売却にしたらどうか。	いただきましたご意見につきまして、建設局へお伝えさせていただきます。
現在、認知症の独居高齢者で、一日中ろうそくを灯している方の案件を抱えている。何かあってからでは遅いが、地域の見守りでも限界があるので、どうしていくのが良いか悩んでいる。	日頃は見守り活動にご尽力いただき、ありがとうございます。具体的に気になるケースがございましたら、区役所高齢担当か、管轄の地域包括支援センターにご相談ください。

ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
通学路の安全確保に力を入れてほしい。	通学路の安全対策につきましては、学校、警察、建設局、地域等と連携して実施可能な安全対策を検討してまいります。

令和5年度生野区区政会議(第1回全体会)
 主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和5年7月27日(木)

開催場所:生野区役所 6階 大会議室

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
地域	<p>地域の行事に携わっているが、小学生を対象とした行事をしても、最近子どもを連れて来てすぐに帰る保護者が多い。できれば、保護者も子どもと一緒に参加してもらって、コミュニケーションしたり、お手伝いしてもらえたらと感じる。</p>	<p>大阪市では、市政改革プラン3.1において、地域の実情や特性に即した地域運営を促進するため、地域のことは地域で決める、との方針のもと設立された、自律的な地域運営の仕組みである地域活動協議会(まちづくり協議会)への支援を行っています。 また、地域活動協議会補助金では、活動内容を指定しない補助、いわゆる運営補助という他の補助金とは異なる特例が認められています。 人的支援においては、活力ある地域社会づくりに向けて、自律的な地域運営が実現するよう、本市から事業者に委託し、中間支援組織である「まちづくりセンター」を活用した支援を行っています。 とりわけ、新たな担い手の確保の課題については、他地域の取組事例の情報提供をするなど、引き続き区役所とまちづくりセンターが連携して支援を行います。 また、町会の加入促進についても、町会の意義についての理解促進をはかるなど情報発信の強化について取り組んでまいります。</p>
	<p>巽東地域は高齢化が激しく進んでいるが、夏祭りを開催した際に、多くの子どもが集まった。普段は地域外の学校に通っているが、夏祭りいうことで帰省して、おじいちゃん、おばあちゃんのとともに参加してくれた。地域から出て行った人が戻ってこれるような、そのようなまちづくりができればいいと感じる。</p>	
	<p>この間、町会で花火大会をして1,500人の参加があった。参加者からは好評で、とてもやりがいのある企画だった。こういったことも含めて、少しでも生野区に住んでみたいという人が増えるような行事を考えていくのもいいかなと思った。 ただ、地域の担い手不足問題もあり、どのように若い人を地域に引き込むかが課題である。</p>	
	<p>学校の統廃合により、PTAと地域のつながりが明らかに薄くなった。これまで地域の夏祭りの担い手として、PTAの人たちも参加してくれていたが、学校が閉校したことによって、参加してもらえなくなった。どの地域でも抱えている課題だと思うが、地域の新たな担い手をどうつくっていくか、検討して欲しい。</p>	
	<p>コリアタウンは生野区の観光地としてにぎわっているが、町会運営上は好ましい状況であるとは言えない。コリアタウンのほとんどのお店が、オーナーや経営者は区外にいて、雇われ店長や雇われ店員で運営されている。つまり、その地域に住んでいないため、町会への入会案内やお知らせを回覧しても、なかなか届かない状況である。</p> <p>まちの未来部会のなかで、町会での人材不足の問題について、生野区で人材バンクをつくったらどうかという意見があった。例えば、住民登録の手続きの際にあわせて人材バンクの案内や登録も行うといいのではないか。</p>	
道路の安全対策	<p>生野西の生野未来学園の前の道について、車道を狭くして歩道を広くし、ブロックや白線がついたが、これで本当に子どもを守れるのか。ポールなどを立てて、車に分かるようにしたほうが、より子どもを守れるのではないか。縁石のブロックは自転車のペダルがぶつかって、かえって危ない。</p>	<p>ご意見については、道路を所管している建設局と共有させていただきます。</p>

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
教育	<p>大阪市の塾代助成事業はすごい良いツールだと感じており、色々なジャンルの習い事で使えるので、それをもっと充実させ、生野区として子育てや教育に頑張っているということになると「生野区に来て良かった」など思っていただけることになり将来的に良いのかなと思っています。</p>	<p>生野区では、様々な家庭環境で育つ子ども達へ未来を生き抜く力を育成するために、学校を通した多様な学びの機会の充実を図るとともに、子ども達の学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会の提供などを行っているところで、今後とも、生野区の教育環境を充実するための取り組みを引き続き行っていきます。</p>
	<p>行きたい高校ではなく、行ける高校に進学したことで、高校を退学してしまう生徒も多い。退学した後、すぐにアルバイトや就職するというのではなく、復学できたり、新たな学校に通うことができるといった再チャレンジができることをしっかり広めてほしい。やはり、就職の条件として高卒以上の資格を求められることが多いので、行政や地域で守ってあげられたらと思う。</p>	<p>大阪市では高校を中途退学した後の生活や希望を支援するため、高校の入学選抜や編入制度をはじめ、新たな生活のための様々な相談機関をとりまとめ、ホームページで紹介しています。</p> <p>※参考：ホームページ二次元コード⇒ </p>
防災	<p>これまで、くらしの安心・安全部会において、外国人の方が被災されて避難所に来られたとき、受付の担当が困らないように、多言語版の案内を用意してほしいとお願いしてきたところ、今回、避難所開設キットの中に5か国語の多言語案内指さしボードを配置してもらった。ありがとうございます。</p>	<p>災害が発生した際は、屋外にいる方向けに小学校や公園等に設置している防災スピーカーによる災害情報の放送をおこなっています。しかしながら、屋内にいる方については、防災スピーカーのみでは聞き取りにくいいため、大阪市防災アプリや区役所ホームページ、エリアメール等で周知を行うとともに、ラジオやテレビ等様々なツールによりお知らせしています。今後も、地域の方々へ災害情報が適切に伝わるよう努めていきます。</p>
	<p>災害の際に、学校にあるスピーカーで避難等の放送がなされるが、学校から離れている地域では一切聞こえないので、音で教えてほしい。例えば、地域連動型警報装置みたいなものがあって、これが鳴ったら避難するというふうに、地域住民に分かるように伝える方法を考えてほしい。</p>	
支援(子育て)	<p>子どもを持っている保護者の相談について、相談窓口や子育て支援センターに来てくれる人はいいが、家庭内でしんどい思いをしている人をどう拾って支援につなげていくかが課題である。</p>	<p>出生から4か月の間に実施される乳児家庭全戸訪問事業、定期乳幼児健診(3か月・1歳半・3歳)、4歳児訪問事業など、年齢の節目には必ず子育て支援に関する情報提供を行うと共に、子育て相談ニーズの有無を把握するよう努めています。</p> <p>また、就学後については小中学校の気づきのもと、支援の必要があると予想される家庭については学校から区へ繋いでいただき、必要に応じて相談や支援を行っています。</p>
支援(高齢者)	<p>独り暮らしの高齢者がケガなどして生活に支障が出たとき、誰に相談したらいいのかわからないという人は多い。回覧では見てもらえないので、社協から、高齢者の自宅にパンフレットをポスティングしてもらっているが、もう少し目にとまるような方法があればいいのにと、</p>	<p>高齢者の相談窓口である地域包括支援センターやランチ(総合相談窓口)では、「包括だより」やホームページ、Youtubeへの掲載や、チラシ、啓発物品の配布など、積極的に周知活動を行っています。また、区役所でも「広報いくの」やホームページなどの周知活動に努めています。引き続き、地域包括支援センター等と連携して、効果的な周知方法について検討していきます。</p>
多文化共生	<p>生野区は外国人の方が多いが、外国人の方だから、いろいろと話ができないというのではなく、タイアップして、一緒にまちづくりができたらいいなと思う。担い手不足の問題についても、今後は外国人の方々の力を借りていくことを考えていかないといけないと思う。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。外国人住民も共に地域を支える一員になってもらう必要があると考えています。地域のイベント等を通してお互いに関心を持つところから始めるなど工夫が必要だと思います。現在生野区では、「やさしい日本語から、つながろう」という取り組みを行っております。「やさしい日本語」を通じて、まちの中で人と人とのつながりが、広がっていくことをめざしています。行政としても地域と協力して、「やさしい日本語」を普及させていきたいと考えていますので引き続きよろしくお願い致します。</p>

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
シティプロモーション	<p>地域の活動や相談・支援などのさまざまな情報を、どうまとめあげていくのかが課題だと思ふ。地域の中で取り残されている人が、自分に合った情報をうまくキャッチできたら、一歩踏み出せるきっかけになることもあると思ふ。情報からきっかけを得て、それから人と人とのつながりに発展していく、そうした流れをつくるのが重要である。</p> <p>生野区民専用アプリなどをつくって、質問や困りごとなどを入力すれば、こういったことができるのかといった窓口があるというふうには、答えが返ってくるような、解決の方向へリードしていけるようなツールがあればいいと思ふ。携帯やスマホがない人に対しては、振興会館とか、憩いの家とかでそういったものが提供できると、全体的にサポートが行き渡るのではないかと。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。様々な情報の中から、その方にとって本当に必要な情報を入手できるようにすることはとても大切なことであると思っています。</p> <p>生野区専用アプリとまではいきませんが、大阪市におきましては「大阪市公式LINE」に登録していただくと、「子育て」「ごみ」「各種手続き」「市へのお問い合わせ」「新型コロナ」のメニューがあり、メニューをタッチだけで容易に情報にたどりつくことができます。また、どの区のもののような情報を受信したいか希望がありましたら、基本情報登録で対象区や対象の情報カテゴリを受信設定しておくことで、設定した区の希望する情報のみ受信することができます。たとえば、区は「生野区」、情報カテゴリは「子ども・教育」をチェックしておくことで、生野区の子ども・教育関係情報が自動受信となります。</p> <p>今後、広報紙やSNS等において、区民の方に「大阪市公式LINE」の案内をしていく予定です。</p>
区政会議	<p>子育て中の人々や子ども、若者は、支援やサービスの利用対象者として位置づけられている向きが強いが、同時に、参画主体としての側面というものを強めていくということも考えられないか。対話などを通じて、当事者の意見を聴き、反映させていくといった取組が、生野区で先進的に進んでいくといいなと期待している。例えば、出前区政会議みたいな形で、各委員が関わっている地域の居場所、活動拠点、学校等に出向いて、区役所と住民が対話をしていく、そういう場をつくっていくという形がより進んでいけばと願っている。</p> <p>全体会や各部会で出た意見に対して、区の考え方や対応ということで回答していただいているが、文章の締め「努めてまいります」や「進めてまいります」、「図ってまいります」という表現が多く、その後どうなっているのかということが分からない。具体的な事例を挙げて、区政会議の場で説明してもらえると意見を出したかいがある。</p>	<p>区政会議の運営に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>区政会議の資料や内容は、区のホームページに掲載しておりますが、より区民の皆さまに届くための工夫が必要であると考えています。</p> <p>区政会議でどのようなことが議論され、それが施策にどのように反映されたのか、区政委員の皆さまをはじめ区民の皆さまにお伝えするために、定期的に広報紙やSNSを通じて区政会議の情報発信を行っていきたくと考えています。</p> <p>令和5年度につきましては、広報いくの(令和6年1月号)で区政会議の特集記事の掲載を予定しています。</p>
その他	<p>生野区をよくしていこうという人たちがいる一方、モラルに欠ける方も多くなってきている。空き地へのごみの不法投棄や、交通ルールを守らない、タバコのポイ捨て、ながらスマホなど、モラルに欠ける方も多くなってきている。</p> <p>また、家の横にある側溝について、掃除しないために、土がたまって草が生えてきて、水が流れなくなっている。掃除していただきたい。</p>	<p>おっしゃるとおり、ごみ出しや交通等のルールについて守っていただけない方が一定数おられます。</p> <p>自転車の交通マナーについては、広報いくのなどで注意喚起を呼びかけ、マナーアップ向上につながるよう努めています。</p> <p>根本的な解決が難しい案件ですが、行政としても引き続き周知を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>